



学校だより

令和8年7月17日

Sakonama 横浜市立左近山小学校

夢中がいっぱい左近山の子

8・9月号

～つながる学び（知）・つながる仲間（徳/体）・つながる地域・未来（公/開）～

ちいき かがや こ 地域のなかで輝く子どもたち

こうちょう
校長

あらい まさふみ
荒井 正史

がつみつか きん よっか ど さこんやま なつまつ おこな
7月3日（金）、4日（土）に、左近山ショッピングセンターにて夏祭りが行われました。
かいじょう た もの の もの あ けいひん も
会場をまわらせていただくと、食べ物や飲み物、くじで当てた景品などを持ちながら、
なつまつ たの こ あ こ ひょうじょう こ
夏祭りを楽しんでいるたくさんの子どもたちと会いました。子どもたちの表情はどの子ども
えがお かがや よっか ど かぞく ゆうじん しん こ
笑顔で輝いていました。4日（土）には、家族や友人でレジャーシートを敷いて、子ども
おとな かたがた なご ふんいき たの ようす み さこんやま
たちだけでなく大人の方々も和やかな雰囲気を楽しんでいる様子も見え、左近山の
まちはやっぱりいいなと感じました。



さこんやま あおきかいちょう じっこういいん かた はな たか はなし き ねんせい
左近山ショッピングセンターの青木会長や実行委員の方から、鼻が高くなるようなお話を聞きました。6年生
こ そっせん ひろ き ねんせい こ とも こえ
の子どもたちが率先して、ごみ拾いをしてくれたそうです。あとから聞くと、ある6年生の子が友だちに声をかけた
ことからはじまり、その輪が広がって、結果として会場にいた20名程の6年生の子どもたちが分担してごみ拾いを
おこな ふくろ あつ あおきかいちょう じっこういいん かたがた たいへんよろこ
行い、9袋ものごみを集めたそうです。青木会長も実行委員の方々も大変喜んでくださっていました。

ごみ拾いをしてくれた6年生の子どもたちに尋ねたところ、「ごみがたくさん落ちていたから、このままだといけな
いと思って始めた。」「ペットボトルや空き缶、食べた容器などがたくさん落ちていた。プラスチックのごみもたく
さんあった。ごみを落とさないでほしいと思ったし、きれいにしたいと思った。」「お祭りを楽しみにしているし、ずっと
続けてほしい。このままでは来年度なくなってしまうのではないかなと思って、ごみを拾った。」「まわりの人が、
「ありがとう」などと声をかけてくれたのがうれしかった。ごみ拾いをしてよかったと思ったし、気分もよかった。」「ごみが
たくさん落ちていると嫌な気持ちになる。お祭りもずっと続けてほしいし、きれいなまちになってほしいと思った。」
などと話をしてくれました。

お祭りで出会った子どもたちは、どの子も楽しそうで、とても輝いていました。こうした子どもたちの笑顔は、
ながねんさこんやま ちいき かたがた たいせつ おも ねが つ かさ たまもの かん
長年左近山の地域の方々が大切にしてくられた思いや願いが積み重なってきた賜物であると感じます。こうした
あたたかい 左近山のまちで育っている子どもたちは、この6年生の子どもたちのように、自分たちの住むふるさと
ほこ おも たいせつ ねが しんじょう ちゃくじつ はぐく ねんせい こ はな
のことを誇りに思い、大切にしたいと願う心情を着実に育んでいます。どうか、6年生の子どもたちが話してくれた
おも ねが みらいえいごう さこんやま はってん つづ ねが
思いや願いがかたちとなり、未来永劫、左近山のまちが発展し続けることを願います。

この夏休みにも、各自治会などでお祭りが行われます。昨年も、お祭りのなかで活躍するたくさんの子どもたち
と出会いました。今年の夏休みも、地域のなかで輝いている子どもたちと出会えることを楽しみにしています。

すいえいがくしゅう さこんやま すいしんいいん みな たいへん せ わ こ みまも
水泳学習では、左近山スポーツ推進委員の皆さまに大変お世話になりました。子どもたちの見守りだけで
なく、水の管理などのプールの設営にもお手伝いをいただき、子どもたちが安全に水泳学習に取り組むこと
ができるよう、ご尽力いただきました。本当にありがとうございました。

【留守番電話設定】平日16時45分から翌朝8時15分までは留守番電話を設定しています。